

事業所名

ハートピア出雲スマイル

支援プログラム

作成日

令和6年

10月

29日

事業の種類

放課後等デイサービス スクラム

| | | | | |
|------------|-----------------|---|---------|--|
| 法人の理念 | | 障がいのある人のそれぞれの可能性、それぞれの能力を活かしながら、人と人とのつながりを大切に、その人のライフステージに応じて一貫したケアができる通所サービスと相談支援をめざします。 そのために、信頼される事業所、利用しやすい事業所であって、サービスの質と専門性の向上を追求し、障がい福祉事業の変革と新たな文化の創造に寄与します。 | | |
| 支援方針 | | 「ノーマライゼーション」と「バリアフリー」をキーワードとし、障がいのある人がその人らしい自立した生活ができるよう、あわせて地域社会との交流を深めることができるよう支援します。 1. 利用者一人ひとりの主体性と人権を重んじ、個々の能力に応じて生活の質（QOL）を高めるための支援をします。 2. 利用者にとって快適でかつ安全な活動の場・生活の場を創り、専門性を高め信頼されるサービスを提供します。 | | |
| 子どもの療育基本方針 | | 1. 子どもが元気に楽しく過ごす環境を創ります。 2. 一人ひとりの子どもの可能性を信じ、生きる力を育成します。 3. 基本的な生活習慣を身につけさせ、社会適応能力を培います。 4. 愛情をもって、ほんの小さな進歩でも大きな喜びとして励まし続けます。 5. 療育のプロとしてその専門性を高めます。 | | |
| 営業時間 | | 8 時 30 分から 17 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | 有 |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・利用開始前には学校や家庭などから体調や様子の申し送りを聞き取る。 ・生活習慣の流れとしてスケジュールを使用し手洗いや自己管理などの習慣が身に付けるように支援する。 ・来所時には検温を行い、体調不良時には必要に応じてパルスオキシメーターを使用し安心して利用が行えるように支援する。 | | |
| | 運動・感覚 | ・利用児個々の強みを見つけて強みを伸ばすことや、苦手な部分に関しては環境的な配慮を行うことや支援ツールなどを提供しながら自立が行えるように目標を設定し支援を行っていく。 | | |
| | 認知・行動 | ・子ども達の理解やニーズに合わせ視覚支援を用いながら認知面の形成を行う。 ・自立して行動が出来るようにスケジュールや手順書などを用いて支援を行っていく。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・子ども達の言葉に理解や表出のアセスメントを行いながら、子どもたち自身からコミュニケーションが行いやすい環境を整え伝える力を伸ばしていく。 ・大人だけではなく子ども同士のコミュニケーションを伸ばしていく。 | | |
| | 人間関係 社会性 | ・場面に応じた他者との関わり方をその都度伝えていく。 ・ルールのある遊びを通して、社会のマナーや他者との関わり方を経験し学べるように支援する。 | | |
| 家族支援 | | ・家庭での困り感や支援方法について、保護者の要望に応じて相談できる場を提供することや6か月に1回、利用児及び保護者と支援者で懇談を行う ・家庭療育座談会を通して家庭での支援や保護者同士の繋がりが行える場を提供していく ・学校からの送迎、利用時間の延長を本人及び保護者の同意の下で行う。 | 移行支援 | ・就学や他放デイなど移行に合わせて、利用児の情報を提供することで円滑に移行が出来るように努める。 |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の方との交流や、公共施設を使用する事など地域での活動を通して子ども達が地域で過ごすための力を身に付けていく。 | 職員の質の向上 | ・障がい理解などの研修や日々の支援についてミーティングを行うことで療育の質を向上させていく。 |
| 主な行事等 | | 7月 七夕週間、8月 夏祭り、11月 はあとピアいずも作品展参加、12月 クリスマス週間、2月 節分週間、バレンタイン週間、3月 ホワイトデー週間 その他、月案を作成し季節に合った活動を提供していく | | |